

# 平成30年第1回大衡村議会定例会一般質問通告書一覧表

No.1

通告順位 1 番	氏名 石川 敏	質問形式: 一問一答
1. 件名 従前の一般質問、その後の結果を問う		
今までの定例会において、村政の各種施策にかかる村長の方針・考え方について質問をしてきたが		
その時点では「今後検討する」との答弁があった事項が何点かある。		
その後、検討の結果、どのような結論になったのか。		
検討した経過と結果及び予算措置等について問う。		
1. 万葉バスの運行方針(平成28年3月)		
2. 土地開発基金で取得した土地の活用(平成28年6月)		
3. 子ども支援策(平成28年9月)		
・学校給食費減免		
・奨学資金減免給付		

通告順位 2 番	氏名 小川 宗寿	質問形式: 一問一答
1. 件名 旧幼稚園舎の利活用について再度問う		
平成29年第1回定例会において「旧幼稚園舎の活用計画を問う」との質問をしたところ、村長からは		
「29年度中には方向性を決定したい」との答弁があった。		
その後、旧幼稚園舎の利活用については、どのように検討を重ねてきたのか。		
1. 庁内検討委員会での協議内容は		
2. ゼロベースの段階から庁外(村民)を入れて計画を検討すべきだったのではないか		
3. 検討委員会の募集の方法についてどう総括しているのか		
4. 検討委員会にはどのような利活用計画の素案を示したのか		
5. 検討委員会ではどのような意見が出ているのか		
6. 検討委員会では3月中に提言書を取りまとめるとしているが、その提言を受けて、実現性や費用対効果、財源等を庁内で再度検討したうえで、いつごろ事業化すると考えているのか		

# 平成30年第1回大衡村議会定例会一般質問通告書一覧表

No.2

通告順位 3番	氏名 佐々木 春樹	質問形式: 一問一答
1. 件名 <b>ごみの減量化・3Rの推進に向けた取組みは</b>		
循環型社会の形成に向けたごみの減量化や再資源化が大きな課題となっている。		
一般廃棄物に占める割合の大きい家庭系ごみのなかには、プラスチック製容器包装をはじめ、多くの資源化可能物が含まれている。こうした資源化可能物の再資源化を社会的に進めることは、環境への負荷を軽減するだけでなく、ごみ減量化を通じた収集の効率化にも大きく貢献するとされている。		
そのためには、住民ニーズに対応したごみ収集のあり方を見直すとともに、ごみの減量目標や環境に配慮し、住民、地域社会、行政の連携した取組みを確立することが求められる。		
1. 4月から資源物回収の内容が変わるが、現在ほどのような取組みをし、住民に周知しているのか		
2. 循環型社会形成に関する「バイオマスタウン構想」「スマートシティ構想」の現状と、今後の取組みは		
3. ごみの減量化や3R(リデュース・リユース・リサイクル)について具体的な動きはあるのか		
4. ごみ減量化検討委員会のような組織を立ち上げ、取組む考えはないか		

通告順位 4番	氏名 山路 澄雄	質問形式: 一問一答
1. 件名 <b>平成30年度予算の概要と村長の基本姿勢を問う</b>		
平成30年度における新しい事業と予算の概要を聞く。		
1. 大衡村誌の編さんについて		
2. 消防施設の改修と機器導入について		
3. 不妊治療の助成について		
4. 医療用ウィッグへの助成事業について		
5. 教育関係の補助(学校給食や中学校の制服など)について新しい考えはあるのか		
2. 件名 <b>村出資の第3セクター「万葉まちづくりセンター」の情報公開を求める</b>		
1. 「万葉あまぎけ」の生産と、販売の収支状況について		
2. 万葉・おおひら館の運営状況と事業実績について		
3. 職員採用についての状況報告を求める		

# 平成30年第1回大衡村議会定例会一般質問通告書一覧表

No.3

通告順位 5番	氏名 高橋 浩之	質問形式: 一括質問
1. 件名 <b>貸付事業のチャイルドシートの更新を</b>		
平成12年度より始まったチャイルドシート貸付事業は、現在も待機者が出るほどの好評を得ている。		
しかし、現在貸付しているチャイルドシートは、当時のまま更新されておらず、現在の安全基準を満たしているか不安もあり、更新が求められている。		
乳幼児を乗車させる必須アイテムであり、これからもこの貸付事業に対するニーズは大である。現在の安全基準に準じたチャイルドシートの更新と共に、貸付台数の拡大を求める。		
2. 件名 <b>インフルエンザワクチン接種助成の拡大を</b>		
大衡村では、インフルエンザワクチンの接種助成を受けられる方は、中学3年生と65歳以上の高齢者の方や、一部の特殊事情のある方に限定されているが、同じ村民であり、また、各家庭の中心となるべき年代に対して、その助成措置がなされていない。		
今年には特に、インフルエンザが流行しており、予防接種をされている方は多いと思われるが、現在の大衡村の助成措置では不公平であり、全ての村民に対して同様の措置を図るべきと考えるが、村長の考えを問う。		

通告順位 6番	氏名 文屋 裕男	質問形式: 一問一答
1. 件名 <b>再度、公文書の取扱いについて問う</b>		
私が以前一般質問で議題とした8項目の文書(前副村長宅に郵送された一住民からの封書1点、総務課長が作成した書類3点、前副村長が作成した書類1点、女性職員が作成した書類3点)についての文書非開示取消等請求裁判において、前副村長、総務課長は陳述書を提出している。		
二人の陳述書には、一住民からの封書を元に、調査した結果を書面にまとめたことが記載されている。		
二人の陳述書を総合すると、8項目の文書が存在したことは明らかである。		
前副村長と職員が、公務の中で調査し、公務中に作成した文書は公文書であって、私文書ではない。		
総務課長は職責を全うしていないのではないかと疑われる。		
また、陳述書で存在を認めた文書を公文書として保管していないとするならば、住民の知る権利を奪うことになると思うが、村長の考えを問う。		